



### キーワード

地方創生、官民連携、  
森林・里山活用、水辺の保全・再生、  
食、観光



### フィールド

関東地方  
(埼玉県) ・ **森 里 川**

### 実施体制

飯能市、自然保護やまちづくりに取り組む  
NPOや地域住民、農林漁業者、  
学校、観光事業者等



### アクションの目的

自然の保全や文化の継承につながるエコツアーを企画・実施

### アクションの背景

2004年、環境省よりエコツーリズム推進モデル地区に指定を受ける。  
2005年、飯能市エコツーリズム推進協議会を設置。2008年、エコツーリズム推進法に基づき法定協議会とする。  
2008年、「第4回エコツーリズム大賞」の「大賞」を受賞。  
2009年、「飯能市エコツーリズム推進全体構想」が国から認定される（全国認定第1号）。2015年に再認定。  
2017年、「第12回エコツーリズム大賞」の「特別継続賞」を受賞。

### アクションの内容

#### 【飯能市におけるエコツアー】

全体構想で定めた「10の推進ポイント」や「ルール（地域の取り決め）」に基づいて、ツアー実施者は自然の保全や文化の継承につながるエコツアーを企画・実施し、参加者にもその考え方を伝えている。

エコツアーが全体構想に沿った内容となるよう、企画段階で協議会がチェックし、ツアー実施者にアドバイスを行う「事前協議制度」を設けている。

「地域の人々が地域の言葉で地域をご案内。」をコンセプトとして、毎年100ツアー以上のエコツアーを実施している。

毎年、優れたエコツアーを選定・表彰する「飯能市エコツアー・アワード」を設けている。

環境教育をテーマに、小学校の遠足などを地元ガイドが案内する「飯能わくわく体験遠足」を実施。市内を始め、都内の学校の受入れを行っている。

### アクションのポイント

- ◎里地里山の身近な自然や文化を自然観光資源として活用している。
- ◎自然観光資源だけではなく、「地域に住む人」も宝物として、エコツアーのポイントにしている。
- ◎自然保護やまちづくりに取り組むNPOや地域住民、農林漁業者、学校、観光事業者など多様な主体の手でエコツアーが企画・実施されている。

### アクションの効果と今後の展開

- 住民が自ら地域の良さを再発見することで、地域への誇りや愛着が生まれている。
- 地元食材や店舗・施設を利用し紹介することで、市内消費機会の増加につながっている。
- 路線バスや鉄道を積極的に活用し、公共交通の維持確保に貢献している。
- 参加者のリピーター率が約50%と高く、飯能のエコツアーファン、エコツアーをきっかけとした飯能ファンの創出につながっている。